



北九州市の豊かな自然の恵みを活用し、
自然と共生していきましょう。

問い合わせ

北九州市環境局環境監視課自然共生係

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号
TEL. 093-582-2239 FAX. 093-582-2196



再生紙を使用しています。

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

印刷物発行番号第2012048A号

自然レポート 2020

～2020年の取組を紹介します～



北九州市環境局

もくじ

1.はじめに	2
2.第2次北九州市生物多様性戦略の基本目標と方向性	3
3.自然ネットの取り組み・自然ネット参加団体の取り組み	4
NPO・市民の取り組み	
●北九州市立市丸小学校	6
●今町校区まちづくり協議会	
●NPO法人環境ネットワーク	
●北九州インタープリテーション研究会	7
●北九州グリーンヘルパーの会	
●NPO法人 北九州国際自然大学校	
●北九州植物友の会	8
●NPO法人北九州ピオトープ・ネットワーク研究会	
●北九州ほたるの会	
●九州国際大学附属高等学校生物研究部	9
●NPO法人グリーンワーク	
●小嶺水辺の教室(小嶺自治区会)	
●NPO法人 里山を考える会	10
●ジオ&バイオ研究会	
●女性植物友の会	
●公益財団法人タカミヤ・マリバー環境保護財団	11
●福岡県立東筑高等学校生物部	
●日本カブトガニを守る会福岡支部	
●日本熊森協会 福岡県支部	12
●日本野鳥の会北九州	
●響みどりの会	
●“平尾台・広谷湿原”ラムサール条約登録実行委員会	13
●深町どんぐりのもり保育所	
●NPO法人帆柱自然公園愛護会	
●紫川河川塾 ●私たちの未来環境プロジェクト	14
●(公財)北九州活性化協議会もったいない総研	
●TOTO株式会社 ●グリーンパーク活性化共同事業体	15
事業者の取り組み	
●光和精鉱株式会社	
●血倉登山鉄道株式会社(血倉山) ●ひびき灘開発株式会社	16
●緑の回廊事業(どんぐり苗の育苗)の協力事業者	
4.市各部署の取り組み	
4-1 里地里山の持続的な利用	17
4-2 長野緑地「市民参加による農業体験教室」	18
4-3 学習プログラムの取り組み	
4-4 中山間地域農業支援事業	19
4-5 地産地消の推進	
4-6 多面的機能支援事業(旧:農地・水保全管理事業)	20
4-7 環境学習事業の推進	
4-8 自然環境に精通した人材の育成	21
4-9 ほたるのふるさとづくり	
4-10 荒廃森林再生事業	22
4-11 竹等粉碎機貸出事業	
4-12 流域ネットワーク推進事業 紫川流域会議	23
4-13 流域ネットワーク推進事業 ラブリバー撥川ネットワーク	
4-14 地域固有の生態系の保全と利用 曾根干潟環境保全の取り組み	24
4-15 天然記念物平尾台土地買い上げ事業	
4-16 希少種の保全(ガシャモク保護対策)	25
4-17 外来種対策への取り組みについて	
4-18 響灘・鳥がさえずる緑の回廊創成事業(植樹による緑の回廊づくり)	26
4-19 響灘・鳥がさえずる緑の回廊創成事業(響どんぐり銀行)	
4-20 響灘・鳥がさえずる緑の回廊創成事業(緑の拠点づくり)	27
4-21 新門司北地区緑地整備の取り組み	28
4-22 環境首都100万本植樹プロジェクト~まちの森	
4-23 環境影響評価制度推進事業	29
4-24 環境配慮指針活用推進事業	
4-25 自然環境調査の実施とデータベースの構築	30

① はじめに

北九州市は、
「第2次北九州市生物多様性戦略(2015年度-2024年度)」
を策定し、自然と人とのかかわりの歴史や経験を活かし、
将来にわたって豊かな自然の恵みを楽しむ社会の実現を目指します。

基本理念

都市と自然との共生
~「豊かな自然の恵みを活用し 自然と共生するまち」の実現を目指して~

本戦略は、パートナーシップの考えのもと、市民、NPO、学識経験者、事業者及び市で構成する「北九州市自然環境保全ネットワークの会(通称:自然ネット)」が推進するとともに、進行管理しています。
また、戦略の状況を、数値目標を活用して総合的に評価を行うと同時に、
市は戦略の進捗を環境審議会等に報告します。
これらを通じてPDCAサイクルを適切に回してゆきます。

